

8-5-4 テクリス専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会開催

専門委員会開催：5回

(2) 活動の目的

公共事業の発注に大きな役割を果たすようになったテクリスに関する(一財)日本建設情報総合センター(JACIC)への業界窓口。

テクリスの透明性、公正性を向上し、活用の場を拡大させるための意見交換の場とする。

(3) 主な内容

a) テクリスシステムリニューアルへの対応

平成26年度にJACICからコリンズ・テクリスシステムのバージョンアップを行う意向であることが発表され、平成31年1月7日にリニューアルシステムの利用が開始された。

今回のバージョンアップは、効率的なデータ登録や検索機能の拡充等、これまでの要望を要件定義段階から反映する良い機会と捉え、平成26年度より、JACICと積極的に意見交換を行ってきた。平成28年2月にはJACICから改良要件(案)意見照会があり、協会が平成27年5月に加盟企業を対象に行った調査において特に改良要望の多かった項目等を集約し、常任理事会の承認を受けて回答した。その後も、コリンズ・テクリス利用者会議の意見募集や利用者会議での発言、JACIC担当者との協議等にて、協会加盟企業の改善要望の申入れを継続して実施してきた。

平成30年6月JACICとの打合せでは、平成30年1月開催のコリンズ・テクリス利用者会議にて提示された「コリンズ・テクリスの主な改良項目」の内容確認を行い、システムフロー等の回答を得るとともに新システムの進捗状況を確認し、リニューアル準備期間の要望を伝えた。協会加盟企業には自社システムとテクリスシステムの連携を実装している企業も多いため、自社システム改良準備に必要なXMLファイル、選択肢項目データ等の事前公開を要望し

提供されることとなった。

JACICから7月末に通知されたコリンズ・テクリスシステムリニューアルの第1報を受け、6月に実施したJACICとの打合せ内容等を第1報の情報に補足し、9月に協会加盟企業に向け情報提供を行った。

続いて10月末の第2報と11月15日付のシステム停止の通知(12月19日～翌年1月7日)を受け、停止期間前後の注意点等を補足し11月に情報提供を実施した。また、システム停止の通知内容を踏まえ、運用開始直後に混乱を招かないために、マニュアルの事前公開等を再度JACICに申入れた。

提供を依頼していた選択肢項目の新旧対応表データを12月に受け取り、協会加盟企業へデータ提供とリニューアルに際しての注意事項についての情報提供を再度行った。

リニューアルシステム稼働直後、所属技術者の登録申請処理の遅延等が生じていた。年度末から年度始めにも同様の遅延が懸念されるため、その対策についてJACIC担当者に確認を行った。

b) コリンズ・テクリス利用者会議への対応

今年度のコリンズ・テクリス利用者会議は、システムリリース時期と重なるため開催が見送られた。

2. 次年度の活動について

平成31年1月にリニューアルし運用開始されたコリンズ・テクリスシステムについての対応として、協会改良要望の反映状況確認を実施する。また、リニューアルシステムについて協会加盟企業を対象にアンケートを実施し、改良要望の反映状況とアンケート結果、今回のリニューアルで見送られた要望を取り纏め、協会意見としてJACICに要望していきたい。

JACICとの協議等を通じて得られた有益と思われる情報については、速やかに協会加盟企業に提供するとともに、JICA・DB(海外業務)とテクリスの連携や電子契約についても注視していく。

(テクリス専門委員会委員長 佐藤 美緒)